道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

8月から頻繁に通っている光城山（912m）は、小雨には傘が有効な楽しいお山♪

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～http://www.fairytale.jp/～

すでに一般用語として使われているのかもしれませんが、「リゾバ」なる言葉をつい先日知りました。リゾート地に住み込みながらするアルバイトのことですが、高校生の時にはスキー場、日本一周中には沖縄や佐渡島など各地の観光地で働いていた私は、まさしくリゾバの先駆者!? 実は当時も多くの旅人が農地や地元の小さな建設現場などで働いており、お金を貯めては旅を続けていました。その情報は口コミでどんどん広がっていくのですが、速さと正確さは今のSNS並み。吉田拓郎の「洛陽」が似合う旅人たちの暮らしでしたが、今はどんな歌が似合うのでしょう。

冬はスキー場でリゾバし、春になったら50ccのスーパーカブで日本一周をしている奄美大島出身の栄華子さん。先日2度目のカフェ訪問時に、じっくりと話を伺えました。鹿児島で特別支援学校の保健体育教師をしていたのですが、30歳になった時に「今しかない」と意を決して辞職し、すぐに旅に出たそうです。北海道でスノーボードにハマり、ルスツスキー場のリフト係をしながらの日々は、「こんなに楽しくていいのか」とのこと。教師生活は責任と重圧の中なので、今は純粋に自分を自由に遊ばせてあげているようでした。まさにフリーラン！ 3年目に入ったという旅はまだ4県制覇ということで、出会った日本一周ライダーの中では驚くほどスローですが、その目の輝きはダントツ。素敵な生き方にすっかり触発された私の夢に「華ちゃんとバックカントリーを一緒に滑ること」が加わりました。ちなみに頭に浮かぶ歌は「絢香／にじいろ」と「WANIMA／やってみよう」だそうです（↑「やってみよう」最高ですね！）。

さて、日々ウィズコロナで規制が緩和され、カフェにも全国各地からライダーが普通にやって来るようになりました。先日は2年の中止を経てようやく白馬で開催されたBMWイベントからの流れで、大型バイクが溢れかえりました（カフェは小さいのに、松本市の公共パーキングを使わせて頂いているので、バイク50台（四輪なら20台）が楽々停められます）。久々にやってきた方たちに出会えて大喜びだったのですが、なんと開店前15分に地域一帯が停電となり、大騒ぎ。ランチどころか自販機も使えません。最近、倒木による停電が相次いでいますが、全国的に異常気象による様々な被害が多発しており、心配でなりません。一昨日の朝は台風の余波（強風）で、倒木の嵐。我が家からカフェに向かう生活路2本のどちらもが遮断されたのですが、地元の方の素早い倒木除去で事なきを得ました。当たり前の生活が送れることの有り難さを痛感させられます。

8月半ばには、しばらく工事で通れなかった国道148号線の会吉トンネル（青木峠）と日本最古の国道トンネルである明通トンネルを通って道の駅までソフトクリームを食べに行ってきました。松本市と筑北村と青木村を結ぶこの道は、絶景はなく青木村側の路面はやや荒れなのですが、便利なので人気あり。でも、3年前の台風から災害復旧が続き、イメージはいつも工事中。やっと通れることになって本当に嬉しかったのですが、トンネル内工事と聞いていた明通トンネル、すっかり綺麗になっていました。背丈ほどの左右の補強壁追加かなと思ったら、頻繁にここを通る地元ライダーは、「網の保護ネットをつけたんじゃないかな。壁はあったはず」とのこと。今度工事関係者を見かけたら真相を確かめたいところです。帰りは、こちらも久し振りに通行解除となった保福寺峠（かつての東山道で、松本藩主が参勤交代に使ったという道）を走りました。雨で小石も出ているけれど、カブやオフ車などの軽バイクや軽トラなどにはとても楽しい舗装路。長く工事だった箇所もついでにチェック。なんてゆっくりしていたら突然のゲリラ豪雨に遭いました！ひゃあ！でも夏の雨は心地良し♪すっかり馴染んだこのハンターカブ、半年は手元にありそうなので、さらにミニツーリングを重ねたいと思います。

阿波踊りではありません。ペレファスノボチームと一緒にポーズをとる華ちゃん（左から2番目）と愛車のカブ。

停電直後にやってきた羽田のビーマーたち。電気回復してコーヒーだけは飲めたけれど、可哀想～！また来てね。

久々の会吉地区でバイパス（新青木峠など2本のトンネルで5分の1の時短予定）に続く竣工間近の道路みっけ！

きれいになった明通トンネルを、チャリダーが嬉しそうに通過ちう。日本最古の国道トンネルって看板に欲しいな。

保福寺峠の松本側（県道181号線）。右手には年中湧水が流れる小さな休憩所「一編水」、左手には絶景がどーん！

都市計画の中の街路㉛
ストリート・トポニミー事始め（その7）

東洋大学国際学部・准教授
志摩憲寿

前回お話しいたしました小都地域で元号と地域との関わりを紐解くと、古く明治時代にも遡るようではありますが、全国的にみて元号通りにはいつ頃に名前が付けられたのでしょうか。元号通りの名付け時期を少し調べてみたいと思います。

これまでにご紹介いたしました東京都や福岡市は道路通称については比較的嚆矢的な取り組みであるようです。東京都では、昭和36年に「東京都道路通称道路名設定審議会」を設置、東京オリンピックを控えて都内観光を容易にすると共に都民の交通の利便を図ることをねらって、昭和通りや明治通りを含む69路線に通称名が付されました。福岡市では昭和44年に市制施行80周年を記念して昭和通りを含む6路線に通称名が付され、その後も昭和54年（市制施行90周年）に13路線、平成元年（市制100周年記念事業）に6路線（この時に明治通り）、平成6年にはユニバーシアード記念事業として6路線、さらには平成20年（市制120周年記念事業）に10路線をはじめとして市制等の節目節目に道路通称名が検討されてきました。大阪市では昭和44年に市電が撤廃され、一方で万国博覧会の開催を控える中で、道路と地下鉄路線の愛称が付されることとなりました。ちなみに、この時に東西方向には「通」、南北方向には「筋」が使われることになったそうです。なお、大正通は昭和58年に大阪築城400年祭を前にその名が付されています。こうした取り組みは少しずつ市区へと広がってゆきます。例えば、東京都では墨田区でも昭和61年に道路通称が検討され、墨田区の大正通りもこの時に名付けられたようですし、また、足立区では平成6年に区政60周年記念事業として12路線に通称が付されました。

一方で、全国的に見ると、墨田区と同じ頃、昭和60年代に道路通称が検討された例が多いようです。元号通りだけを取り上げても、上記の福岡市の明治通りの他、白山市の大正通り、昭和通り（昭和60年）、秦野市の大正通り（昭和60年）、久留米市の明治通り、昭和通り（昭和63年～平成元年）、宇都宮市の昭和通り、平成通り（昭和63年、平成元年）などがあげられます。このあたりには、昭和57年3月に道路審議会建議「今後の道路整備のあり方について」で今後の道路整備を推進するために国民の理解と協力が前提であることが謳われていることが背景にあります。また、昭和61年には標識令が改正されて標識として道路通称が掲示できるようにもなりました。こうした大きなうねりが各地域における道路通称検討の伏線となっているようです。

皆さんご存知のことかとは思いますが、昭和57年のこの建議に続いて昭和61年に全国道路利用者会議の提言を受けて同年度より8月10日が道の日と定められています。道の日も道路通称も身近な道路に向けた取り組みということが改めて確認できます。

参考文献：東京都建設局（https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/）、福岡市道路下水道局（https://www.city.fukuoka.lg.jp/doro-gesuido/）、大阪市建設局（https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/）、国土交通省道路局（https://www.mlit.go.jp/road/）

区内の道路名称を伝える広報誌（出典：「あだち広報」1994年6月10日号）

ハッと思いました

「古い奴だとお思いでしょうが、古い奴こそ新しいものを欲しがるもんでございます。どこに新しいものがございましょう。生れた土地は荒れ放題、今の世の中、右も左も真っ暗闇じゃございませんか」。

何から何まで　真っ暗闇
よ　筋の通らぬ　ことばかり
右を向いても左を見て
も　馬鹿と阿呆の絡み合い
どこに男の夢がある。

1970年の歌です。何故か、ふと浮かんできて、頭から離れなくなりました。

で、「今の世の中・・」見渡してみると、道路上では、昔は大きなクルマ、小さな車、単車、自転車、歩行者と言った順にその行動や責任と土地は荒れ放題、今の世の中、右も左も真っ暗闇じゃございませんか」。

何から何まで　真っ暗闇
よ　筋の通らぬ　ことばかり
右を向いても左を見て
も　馬鹿と阿呆の絡み合い
どこに男の夢がある。

1970年の歌です。何故か、ふと浮かんできて、車や単車が大型車の前に出て進路妨害・急ブレーキをしたり、自転車で車道を蛇行・逆走したりと命知らずの奇行凶行です。信じられません。

小さくて弱いものが自分の力量もわきまえず、強敵に向かうたとえの「蟷螂の斧」と言うのを思い出します。カマキリが前足を上げて、荷車の前に立ちはだかる様子です。カマキリは踏み潰されてしまうのですが。

まさに「馬鹿と阿呆の絡み合い」。これっていつまで続くのでしょうか。

加えて、飲酒運転、ひき逃げ、運動能力や認知機能の低下した人の危険な運転も確実に増加している状況の中、歩道、横断歩道を通っても、信号、速度標識、道路標識を守っていても、安全な場所も安全な瞬間もありゃしないのが現実。今の世の中は「筋の通らぬことばかり」です。

危険排除のために社会一丸となって解決に立ち向かう重要かつ緊急の、かなり優先順位が高い事案です。